

日 時：2024年11月17日（日）13:00～16:45（12:30～受付）

会 場：東京ビッグサイト（東京国際展示場）

内 容：第1部と第2部で構成

受講費：会員2,000円 非会員3,000円

このセミナーは、JNTEC インストラクター・プレインストラクターのブラッシュアップを目的としています。

*ただし、第2部の教育講演については、JNTEC インストラクターに限らず、一般参加（会員・非会員を問わない）の参加が可能です。

申込みは日本救急看護学会のポータルサイトよりお申込みいただき、参加費は現地にてお支払いください。

「第1部 インストラクター・プレインストラクターコンセンサス」

13時00分～14時50分

シナリオの振り返りを体系化！ その質問の意図は？ 次に何を引き出して、どうまとめていく？

司 会 同委員会委員長 苑田 裕樹（令和健康科学大学 臨床シミュレーションセンター）

同委員会副委員長 和田 孝（岐阜・西濃医療センター 西濃厚生病院）

講 師 同委員会委員・JNTEC サポートメンバー

対 象 JNTEC インストラクター・プレインストラクター

「第2部 教育セミナー」

15時10分～16時40分

テーマ：循環の生理学から見直す！ 外傷診療におけるショックの治療戦略

座 長 笠原 真弓 委員（浜松医療センター）

演 者 中村 謙介 先生（横浜市立大学附属病院集中治療室 准教授）

対 象 JNTEC インストラクター・プレインストラクター（第1部から継続参加）

会員、非会員を問わず、すべての看護師

※ご参考まで、参加費は別になりますが、同会場では下記のセミナーの開催もあります。

13:00～14:15 プレホスピタルケア委員会主催セミナー ￥2,000

第1部教育講演「プレホスピタルにおける特殊な処置と救命への挑戦」

講師 原義明先生 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター・外傷センター部長

<企画の趣旨>

第1部

シナリオの振り返り（デブリフィング・フィードバック）は、シミュレーション教育において学習目標を到達させるために重要な要素である。本来、デブリフィングにはシナリオにかかる時間の2～3倍が必要となるが、本コースでは、わずか数分の中で、デブリフィングとフィードバックを効果的に実施するスキルが求められ、とくに経験の浅いプレインストラクターにとっては1つのハードルとなっている。

そこで、ベテランインスト・委員が実施する振り返りを体系化し、何を意図して質問し、引き出し、最終的にどのように受講生の思考を整理しながら学習目標を到達させているのかをテーマとしたセミナーを企画する。振り返り方を主題として討議する場はこれまで設定してこなかったため、今回のセミナーで振り返りにおけるインストラクターの思考が整理され、コースにおける指導スキルのレベルアップを期待する。

≪学習目的≫

- 1) 成人教育法について学ぶ
- 2) 各シナリオステーションの指導法について学ぶ

≪学習目標≫

- 1) 成人教育法を理解できる
- 2) シナリオステーションにおいて、振り返りの場面で指導者が到達させたい受講生の到達目標をどのように引き出し、そして気づかせているかについて、体系的（GAS を使って）に説明することができる
- 3) 受講生のさまざまな反応に対し、指導者がその時どう考え、なぜその介入を行ったのかについて解説を聞き、質問することができる

第2部

JNTEC プロバイダーコースではPTD回避を目的に Primary survey に焦点を当てたコースを展開している。特に循環ブースでは、ショックの早期認知やショック症状や徴候の観察、その対応を中心に受講生へ指導している。しかし、JNTEC は標準化されたアルゴリズム教育が主体であるため、ショックの全体像やショックに陥るメカニズム、生理学的な病態を理解するまでには至っていない。表面的な理解ではなく、詳細な循環、およびショック症状のメカニズムを知ることで、病態アセスメント力の向上と予測的視点での観察能力を得ることとなり、さらに外傷診療におけるショック管理の理解につながると考える。また、看護師にとって聞きなれない「静脈還流」や「グリコカリクス」など、循環管理に関する新たな知見を得て、外傷看護における実践力と指導力の向上を目指すことを目的とする。

●申込方法：日本救急看護学会ポータルサイトよりお申込みください。（11月4日〆切）

以上、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日本救急看護学会 外傷看護委員会